直売所を活用した園芸作物生産振興

大津・南部農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

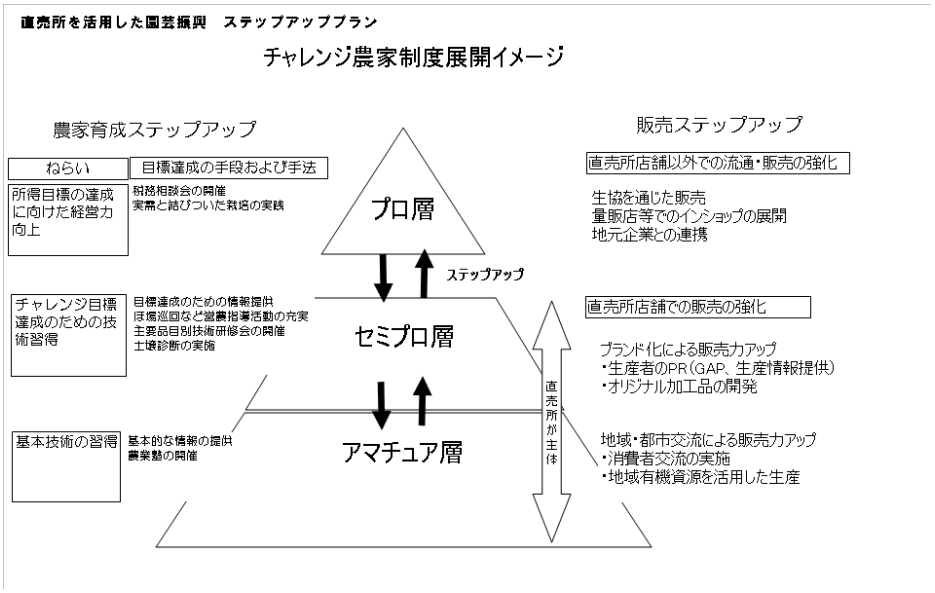
ＪＡおうみ冨士管内では、しゅんぎくやこまつななどを京都市場等へ出荷され、約 5.6 億円の売上げがあります。その内、守山市内の平成 20 年度の市場出荷額は 2.3 億円(910t)ありますが、生産者の高齢化や担い手不足などの課題を抱えています。

一方で、平成 20 年５月に開設された「ﾌｧｰﾏｰｽﾞ ﾏｰｹｯﾄおうみんち」は、年間 10 億円近くまで売上げが伸びており、市場出荷に加えた新たな販売チャンネルに成長し、地域では園芸についての関心が高まってきています。この機会を捉えて、直売所を活用した園芸の担い手づくりを進めるための体制整備を支援しました。

【普及活動の成果】

（１）活動の経過

直売所を単に販売の場としてだけでなく、トレーニングの場とし技術とマーケティングを学び直売所の販売から市場出荷などに発展していくイメージ（右図）をＪＡと共有し行動につなげました。



この計画を具体的に実践するため階層別の取組について検討し、展開イメージ図の作成を進めました。

（２）活動の成果

①生産底辺の拡大

・お盆を中心に需要の大きい小菊栽培の導入を行い、年間の販売額は 1,500 万円となりました。

・直売所ブランドの柱であるメロン、いちごでは計５名の新規栽培者を育成しました。

・キャベツ､ブロッコリーなどで定植機械を利用した省力的な水田野菜栽培の実証を行い、来年度には、ＪＡで定植機の導入が計画されています。

②販路の拡大

・生協や地元企業など直売所以外の販路開拓を行い、いちじくの一部は生協で販売されるようになりました。

・インショップ販売を県内量販店等２店舗で開始されました。